

アローピッチのチェック。決定プロセス

1	ベアシャフトの準備	必須作業
2	近射(1.8-2m)	
3	シャフトの回転方向を確認	
4	フレッチャーピッチの調整(回転方向に調整を推奨)	
5	ピッチを変えたアローのグルーピングチェック	推奨作業
6	もっとも結果の良かったピッチに固定	

ベアシャフトが無回転または安定しないのであればあればピッチ方向はどちらでも可。

シャフトの回転は弓のチューニングやアーチャーのシュートスタイルで変化します。

例えば、押手の押し方・ショルダーポジション・リリースのスタイルでも変化します。

リリースに関していえば、CPでは使用するリリーサーのタイプやDループのサイズでフィンガーリリースであれば3本指のどれからリリースされるかでストリングの挙動が変化します。

例えば、人差し指から離れる場合と薬指からの場合で異なります。

チューニングに関していえばリカーブであればブレースハイトやセンターショット・リムの垂直度。

CPであればレストとセンターショットの位置、カムのリーン、ケーブルガイドのオフセット量で変化します。

CoatlHead